

平成5年度

# 統計数理研究所 公開講座案内



データをどのようにしてあつめるか、そのデータからどのようにして本質的な情報をとり出すか、その〈方法〉を探る科学が「統計数理」です。統計数理研究所は大学共同利用機関として統計数理の理論とその応用の研究を行うと共に、開かれた研究所として統計数理の方法の普及活動も行っています。

当研究所の統計教育・情報センターでは、研究者・学生・一般社会人を対象として、統計数理に関する公開講座を、以下の要領で開催いたします。どなたでも参加できます。

## 要論A 情報量規準による統計解析

期 日 ●10月18日(月)～20日(水) 10時～16時 (1日5時間、合計15時間)  
講 師 ●統計数理研究所 赤池弘次・田辺國士・坂元慶行・石黒真木夫・尾形良彦・北川源四郎  
申込受付 ●9月1日(水)～24日(金)  
講習料 ●5,090円(税込) <受付を確認後、10月4日(月)～8日(金)の間に現金書留で納入>  
受講定員 ●60名 (先着順)

## 要論B 数量化理論

期 日 ●10月25日(月)～27日(水) 10時～16時 (1日5時間、合計15時間)  
講 師 ●統計数理研究所 駒澤 勉・馬場康維  
申込受付 ●9月1日(水)～24日(金)  
講習料 ●5,090円(税込) <受付を確認後、10月4日(月)～8日(金)の間に現金書留で納入>  
受講定員 ●60名 (先着順)

## 要論C 格差・不平等の統計解析と経済分析

期 日 ●11月16日(火)～19日(金) 13時30分～17時 (合計12時間)  
講 師 ●統計数理研究所 田口時夫  
法政大学 豊田 敬  
東京理科大学 牧野都治  
長崎大学 吉田建夫  
一橋大学経済研究所 松田芳郎  
一橋大学経済研究所 溝口敏行  
東京理科大学 寺崎康博  
申込受付 ●9月27日(月)～10月22日(金)  
講習料 ●5,090円(税込) <受付を確認後、11月1日(月)～5日(金)の間に現金書留で納入>  
受講定員 ●60名 (先着順)

**受講手続** ●別紙「申込書」(往復葉書形式)に必要事項を記入(返信用に宛先を明記し41円切手を貼付)の上、統計数理研究所公開講座係にお申込み下さい。●電話および直接持参による申込は受けません。●講習料は、返信葉書による「回答書」の送付を待って受付を確認された後、講習料納入期間中に納入して下さい。●「申込書」は1名1講座につき1枚です。さらに申込書用紙が必要な方は、その旨封書でお申し出下さい。その際は受取人明記の封筒(葉書が入る大きさで62円切手を貼付)を同封して下さい。

※受講証明、修了証の類は発行致しません。この講座は、個人参加を原則としていますので、会社宛の領収書等も発行致しません。また、都合上講座開講中の受講生への電話の取次ぎ等は御容赦下さい。



# 統計数理要論

平成5年度公開講座

## 要論A 情報量規準による統計解析

このコースでは、情報量規準にもとづく統計的モデリングの方法について、統計科学の典型的な問題を通して解説します。

以下の講師による、不適切問題、カテゴリカルデータの解析、ベイズモデル、点過程モデル、時系列モデルに関する各2時間半の講義を予定しています。

講師：赤池弘次・田辺國士・坂元慶行・石黒真木夫・尾形良彦・北川源四郎

なお、参考書として

情報量統計学（共立出版株式会社）

坂元慶行・石黒真木夫・北川源四郎 共著  
をあげておきます。

## 要論B 数量化理論

この講義では、数量化理論の基本的な4つの方法論を、実際的な問題を通して事前・事後のデータ解析に関して解説します。なお、受講される方は微分・積分学、線形代数学、および統計学の基礎的知識を必要とします。特に、現象解析のために多変量的な質的データ解析を学びたい受講者を歓迎します。

以下に示す数量化理論の各方法論を開発された順に講義を行います。

- I 判別・予測のための数量化第II類
- II 予測のための数量化第I類
- III 似たもの集めの数量化第IV類
- IV パターン分類または成分分析のための数量化第III類

なお、テキストとして 数量化理論（財団法人 放送大学教育振興会 電話（03）3502-2750）  
駒澤 勉編著 を使用しますので、受講される方は各自書店でお求め下さい。

## 要論C 格差・不平等の統計解析と経済分析

この講座では、格差・不平等を中心とした統計方法論とその適用を課題としました。散布度の高い集団現象は独自の統計的方法が必要とされます。

実際に集団現象にひそむ不平等問題等は、統計的格差の大小やその変化によって分析出来ます。  
従って、次のような題目と講演者で編成しました。

- |                                              |      |
|----------------------------------------------|------|
| 1. 格差・不平等比較の統計数理                             | 豊田 敬 |
| 2. パレート図による格差の分析                             | 牧野都治 |
| 3. ピアソン系とジーニ系の比較 一統計的記述の方法論一                 | 田口時夫 |
| 4. ローレンツ曲線基準による<br>不平等比較の厚生経済学的基礎付けと様々な不平等概念 | 吉田建夫 |
| 5. 企業構造の統計的測定方法について                          | 松田芳郎 |
| 6. 所得分布変動の要因分析 一アジア諸国の経験よりの接近一               | 溝口敏行 |
| 7. 日本の所得格差の構造                                | 寺崎康博 |

